

地誌 第8回「東南アジア地誌③ 変化するASEAN諸国と東南アジア各国情勢」

○今回のポイント

工業化に成功した東南アジアは消費市場として期待がもたれている！

変化するASEAN諸国

生活の変化と人口移動

・東南アジアの都市化

・工業化の進展 → タイのバンコク、マレーシアの[① クアラルンプール]などで都市化。

↓

・農村では所得、就業機会が乏しい → 現金収入を求めて都市へ[② 出稼ぎ労働]

↓

・農業崩壊。都市では[③ インフラ]未整備、スラムの拡大

これからのASEAN諸国

(1)機能的役割

○[④ 消費市場]…工業化 → 生活水準の向上 → 消費市場 → 先進国の商品売りつける対象！

○国際ビジネスの展開…インド、中国の結節点になるので、位置的に最良。

(2)ASEAN諸国の対外関係

略称	名称	備考
⑤FTA	自由貿易協定	特定の国・地域との間で関税や非関税障壁の撤廃を目的とした協定
EPA	⑥ 経済連携協定	FTAの内容に人材養成、情報通信技術、労働力移動などを含めた広範な経済協力。
⑦APEC	アジア太平洋経済協力会議	オーストラリアが提唱した環太平洋圏の経済協力を推進する閣僚会議
⑧ASEM	アジア欧州会議	かつて植民地と宗主国との関係にあったアジアとヨーロッパの国々が、対等な立場で経済や政治文化交流に至るまで幅広く対話し、世協力を行う会議。
AFTA	⑨ ASEAN自由貿易地域	関税を引き下げ、ASEAN域内の貿易の拡大と投資を促進するために、合意された貿易地域。

☆東南アジア各国 情勢まとめ☆ 必ず地図帳で位置をチェックすること！

① タイ (首都バンコク) ～上座部仏教を信仰する王制国家～

○英領マラヤと仏領インドシナの[⑩ 緩衝国]となったため、唯一の独立国。

○[⑪ チャオプラヤ川]は生活の中心！！ → デルタ地帯の稲作(世界一のコメの輸出国・2009年)

・他にも天然ゴムやサトウキビのプランテーション、「緑の革命」で品種改良

○バンコクに輸出加工区 → 自動車部品・電気機械・食品加工(鶏肉・魚介類)

・バンコクは一極集中型の[⑫ プライメートシティ](首位都市)。

・1997年にはタイの通貨下落が原因となり、輸出指向型工業に大打撃を与えるアジア通貨危機に！

○観光業の発達 → アユタヤ・スコータイは世界遺産に！

② マレーシア(首都:クアラルンプール) ～マレー半島南部と島嶼部カリマンタン島からなる多民族国家!～

○**[13] ブミプトラ**]政策

・マレー系、中国系、インド系の民族で構成されるが少数派の中国系が経済的実験を握るため、政府はマレー系優遇政策を展開。マレー語を公用語、イスラームを国教とし、教育や雇用などでマレー系を優遇。

○プランテーション～天然ゴムから**[14] 油ヤシ**]へ～

・かつては天然ゴムの世界最大の生産国であったが合成ゴムが普及すると油ヤシへ転換。油ヤシから精製されるパーム油の世界有数の生産国となる。

○鉱工業

・カリマンタン島から原油、天然ガスが産出。

・**[15] ルックイースト政策**]…クアラルンプールやペナン島を輸出加工区として外国企業を誘致。

③ シンガポール(首都 シンガポール) ～華人・華僑のアジア NIEs～

○1965年 マレーシアから中国系住民が分離独立

○**[16] ジュロン工業地域**]で工業製品の輸出を中心に加工貿易。韓国・台湾・香港とともにアジア NIEs

④ ベトナム (首都ハノイ) ～停滞の中からドイモイ政策で社会主義市場経済を目指す～

○1945年にフランスから独立するが冷静体制に巻き込まれ分裂。米に軍事介入されベトナム戦争(南&米軍 VS 共産勢力の北)→アメリカが敗退し、共産化して統一 (※当初 ASEAN は反共組織)。

○1000年に及ぶ中国支配により大乘仏教を信仰 (※他の東南アジアの仏教国は上座部)。

○メコン川では商業的稲作 (コメの輸出国世界5位、2005年)

○**[17] ドイモイ**]政策で社会主義市場経済⇒コーヒーの生産と輸出加工区

⑤ ラオス(都[18] ビエンチャン**)**

1953年独立(仏領インドシナ)
メコン川がタイとの国境河川

⑥ カンボジア(都:プノンペン)

1953年独立(仏領インドシナ)
世界遺産の**[19] アンコールワット**]

⑦ ミャンマー(都:ネーピードー)

1948年独立(英領)、軍事政権
[20] エーヤワディー川]稲作中心

⑧ フィリピン(首都 マニラ) ～北部のルソン島と南部のミンダナオ島が中心の島嶼国家～

○スペイン領(16世紀～) ⇒アメリカ領(1898～) ⇒日本軍政(1942～)⇒ 独立(1946)

○旧教のスペイン支配が約300年続いたので**[21] カトリック**]が圧倒的に多い。

○**[22] 環太平洋造山帯**]に属し、火山が多く地震も多発。

○輸出加工区マニラではエレクトロニクス工業が盛ん。その一方で、スラム化。

○ミンダナオ島で**[23] バナナ**]栽培が盛ん(輸出量第2位、2005年)。

⑨ ブルネイ[都[24] パンダリスリガワン**]**

・1984年、英から独立
・石油15%、液化天然ガス85%は日本へ輸出
・生活は豊かで教育・医療は無料

⑩ インドネシア(都:ジャカルタ)

・1945年独立(蘭領東インド)
・アルプス=ヒマラヤ造山帯、火山・地震
・ジャワ島やバリ島は**[25] 棚田**]
・石油、錫、ボーキサイト産出

⑪ 東ティモール[都[26] ディリ**]**

・1975年ポルトガルから独立するが直後にインドネシアに併合
・2002年に独立
・カトリックを信仰